

2025年（令和7年）度 マリーピクシー保育園 自己評価

評価者 園長 中嶋三季

保育理念	こころゆたかにのびのび育つ 子ども同士で伸ばしあう力を最も大切に考え一人ひとりの心に寄り添い愛情豊かな環境の中で元気に心健やかに 子どもの成長を育みます。
保育方針	一人ひとりを認め大切にした保育と日課の充実を図る。 個々の心身や発達状態を把握し、丁寧に関わる。 基本的な生活習慣を身につけ、生活や遊びを通して豊かな感性を育む。
保育目標	優しく思いやりのある元気な子ども 遊びを通して仲間とともに育ちあえる子ども のびのびと自分を表現できる子ども

●保育の計画の編成と実施に関する評価 評価：A（大変よい） B（よい） C（一部検討を要する） D（改善を要する）

項目	内容	評価				取り組み状況・次年度へ向けて
		A	B	C	D	
保育目標	保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			園の全体的な計画の確認と読み合わせから新年度をスタートするとともに、保育理念や保育目標を毎月の園だよりに記し保育室等にも掲示することで、園全体で常に確認する環境を整えてきた。前年度の振り返りや反省、また保護者の方からいただいた意見等を大切に今年度に生かすことで、保育の質の向上とともに地域との繋がりも増えた1年となった。
	目標は地域の特性を生かしているか		○			
	目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか		○			
	目標は前年度の反省を生かしているか	○				
	目標は全職員で検討しかつ共通理解を図っているか	○				
保育	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	○				年間、月間、週案、日案を適切に立てたうえで、一人一人の子どものその日の体調や様子に合わせ、柔軟に丁寧な保育を行ってきた。広い室内を学期ごとの子どもの様子に合わせてレイアウトを変更して適切に区切り、それぞれの時期にそれぞれの子どもたちが安心して過ごせる空間作りに取り組んだ。また課題が見つければその都度見直しを行ってきた。
	保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	○				
	環境の構成を意識した保育を行い過程を常に工夫しているか		○			
	素材・用具を適切に活用しているか	○				
	評価結果を基に、保育の改善に努めているか	○				
行事	行事の種類や実施回数は適切か	○				今年度は新たに給食試食会を実施。参加日程に幅を持たせることで多くの参加をいただき好評を得た。夏祭り等の行事のあり方について話し合いを重ね今年度は2部制に変更。無理なくより楽しんでもらえる行事となった。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	○				
	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	○				

●保育の計画と実施を支える諸条件に関する評価

経営・組織	職務内容が明確で協働できる体制になっているか	○				各職員が自身の立場や役割をよく理解し、職務に責任を持って取り組んできた。子どもの様子や保育上での必要な引継ぎは、担任や担当間で確認することはもちろん、全職員に常に共有を行い園全体で子どもたちを見守る体制がとれた。情報の共有や保育の中での様々な確認は今後も全員が意識して丁寧に行っていきたい。今年度は1歳児の低月齢児が多かったこともあり、0歳児クラスと協力しながら、こどもたちの発達段階に合わせた保育に努めてきた。また異年齢児間の交流が無理なく行えるよう担任同士で話し合い、活動の内容や時間帯によっては合同で過ごすなど協力をしてきた。また家庭と園の両方でこどもたちの健康と安全を守るため、園で年齢に応じた取り組みを行うとともに、家庭に対してはほけんだよりで啓発を行うなど、必要な時期に必要な情報の発信を看護師が中心になり取り組んできた。
	職員の配置は適材適所か		○			
	係や仕事の分担は適切か		○			
	職員が全体的な立場を理解・協力し、園の運営に関わっているか	○				
	会議や打ち合わせの回数、時間、内容は適切か		○			
	年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	○				
	年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して短期的また長期的に設定しているか	○				
	同年齢・異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	○				
	具体的な保健対策を講じているか	○				
	避難訓練を計画に基づいて適切に実施しているか	○				
	健康で安全な生活に必要な習慣などを育めるよう家庭への啓発を行っているか	○				

項目	内容	評価				取り組み状況・次年度へ向けて
		A	B	C	D	
研修	園内外の研修の計画や運営は適切か		○			年2回の心肺蘇生法とAED使用訓練、窒息時の対応などを看護師が講師となり園内研修。市の研修やキャリアアップ研修も計画的に受講できるよう体制をとった。研修報告は職員間で共有し学び合いを行った。
	研修の成果を日常の保育に生かし乳幼児の育ちに反映させているか	○				
	各種研修会などに積極的に参加し内容を園内に還元できているか	○				
安全対策 危機管理	乳幼児や保護者の個人情報を適切に取り扱っているか	○				個人情報保護をはじめとする各種のマニュアルを整備し、書類は適切に保管。安全点検にも定期的に取り組み、ひやりはっこの事例が起こったときにはその原因を追求し、今後同じことが起こらないよう改善へ向けて出来るだけ速やかに取り組んできた。避難訓練は様々な想定を取り入れながら年間の計画に基づき適切に実施。年2回のNTT災害用伝言ダイヤル体験利用や年1回の引き渡し訓練など、保護者の協力によりスムーズに大切な訓練を実施できたことに感謝したい。
	各書類は適切な方法で作成、発行、処理をしているか	○				
	施設内外の安全点検を計画的に行っているか	○				
	遊具・用具を活用しやすいように整理・保管をしているか	○				
	避難訓練を計画に基づいて適切に実施しているか	○				
	不審者等に対応する訓練や準備を行っているか	○				
経理	運営費や保護者から徴収する利用料を適切に管理しているか	○				
家庭・地域 との連携	参観や懇談の機会を設定するなど保育への理解を促しているか	○				子どもたちや家庭を取りまく環境は年々複雑化しており、関係機関との連携は不可欠である。その中で私たちは一人一人の子どもたちに対し、またその保護者に対し、そして地域全体に対し、園としてできることは何かを考え続けながら、いつも子どもたちの健やかな成長を願い、変わらないあたたかい保育を丁寧につけていくことが大切だと感じる。マリービクシー保育園が子育て家庭にとって「もうひとつのおうち」のような存在になれるよう、職員全員で歩みを続けていきたい。
	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会と交流をしているか		○			
	職員による育児に係る子育て相談は充実しているか	○				
	医療機関や保健センターなどとの連携を図り必要な情報を提供しているか	○				
情報発信 外部評価	園だよりやホームページ等で園の情報を発信しているか	○				
	保護者や地域の意見を施設運営に反映しているか	○				
	第三者評価を導入し施設運営に反映しているか		○			